

空間演出デザイン学科

教育目標（育成する人材像）

空間演出デザイン学科では、人々が生き生きとする創造的な社会を築き上げていくために、社会における課題に真摯に対峙し、デザインを通じて解決すること、さらにはそのことによって新たな社会的価値の創出を実践することに積極的に取り組もうとする人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

修得する能力

探求力	世界を深く観察し、未知のものへと挑んでいくことを通じて、新たなもの・ことを発見することができる。そういった力を応用し、社会の潜在的な課題を見だし積極的に取り組むことができる。
思考力	現実のものごとを深く調査・分析し、そこから多様な意味のある関係性を構築することができる。また、既存の意味を疑い、これまではありえなかった関係性や価値をつくりあげることができる。課題と解決の双方に、新たな視点で取り組むことができる。
発想・構想力	概念を生成していく過程において見出せる独自のことばやイメージをもつことができ、それを現実のかたちにもつづけることができる。また、社会的な条件のもとで新たな意味をもつ計画をたて、現実化することができる。
表現力	他者に伝えるために、発見した価値や関係性をことばとイメージをもって現実のかたちとしていくことができる。課題に対する解決策として、より魅力的なかたちを提示することができる。
行動力	デザインを提案するだけでなく、自らの意志を持って、動くことができ、社会の課題を解決へと向けていくために提案を発信し実践することができる。
継続力	積み上げていくことによって、より大きな目標に到達できることを自覚し、向上心を持って課題を続けていくことができる。
コミュニケーション力	他者を知り、また自己を知りながら、ものごとを的確に理解し伝え、世界を広げていくことができる。また、さまざまな人と相互に協調し、社会の中で関係を構築することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

空間演出デザイン学科は空間デザイン、ファッション・ジュエリーデザイン分野の教育を行う上で以下のカリキュラムポリシーを有するものとする。

- ものづくりやデザイン探求を行う専門デザイン領域（空間デザイン、ファッション・ジュエリーデザイン）の修得を基盤としながら、社会性の高い課題の発見と実効性のある解決を提案するソーシャルデザイン領域の修得へと進んでいくカリキュラム構成となっている。
 - 提案を社会で実践することのできる、主体的行動力や協働性を有した人材の育成を目的としたカリキュラムとなっている。
- 1・2年次では、大学での学びの充実、デザイン力の獲得を目標に、ソーシャルデザイン・表現系デザイン・専門デザイン・カテゴリーにて基礎的スキル・思考・表現を重点的に修得していく。
また、社会に貢献できる人間形成に重点をおき、コミュニケーションを積極的に用いたキャリア・カテゴリーおよびソーシャルデザイン・カテゴリーで空間演出デザイン学科独自の学びを提供し創造性あるの人間力を持てるようにする。
- 3・4年次では、社会に向けて課題解決のデザインを発信していくことを目標に、専門デザイン、ソーシャルデザイン・カテゴリーともにより専門性・実践性を高めたカリキュラムを修得していく。ソーシャルデザインでは社会の潜在的な課題をより深く探求し卒業制作へと高めていく。
社会の課題解決を実践できる人材となれるよう、キャリア・カテゴリーおよびコラボレーティブクリエイション・カテゴリーを通じて、より主体的行動力を修得できるようにし、総合的に人間力を身につけるものとする。